



日立東大ラボ 産学協創フォーラム

第2回Society 5.0の実現に向けたハビタット・イノベーションシンポジウム

課題解決から価値創造の次世代スマートシティへ

データ利活用に対する受容性に関する 社会心理学的観点からの分析

唐沢 かおり

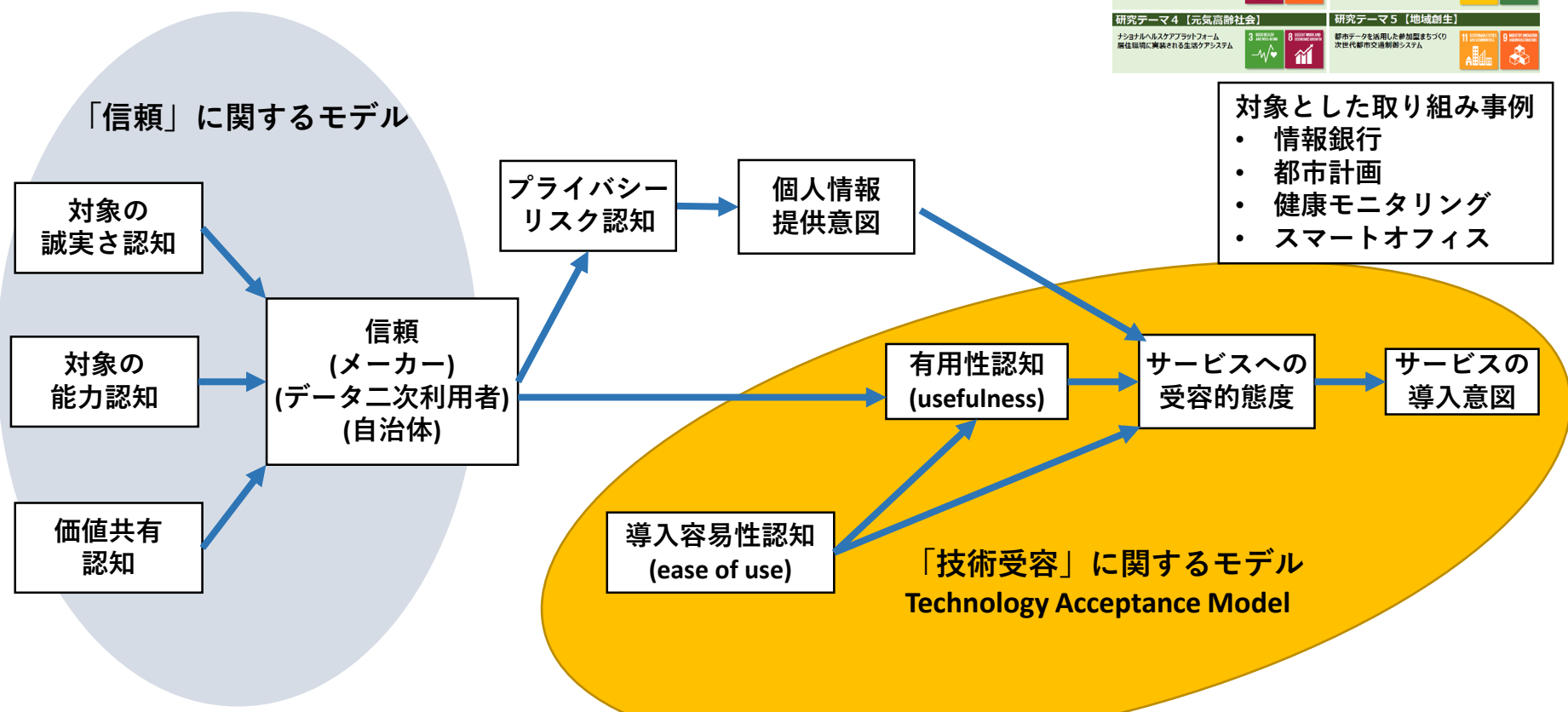
東京大学

大学院人文社会系研究科 教授



◆IoTを中心とする「データ駆動型社会」における個人情報の使われ方に対する人々の態度構造を分析・評価する：調査研究と有識者インタビュー

紹介する調査：技術受容と信頼との関係に着目しラボWGの取り組みに即して検討



技術に対する評価だけではなく、プレイヤーに対する信頼も重要？



◆WGに即した4シナリオ：

- ◆N=2792（手抜き回答検出項目等で不適切回答者削除：3300→2792）
- ◆男性：1370、女性：1422、平均年齢=45.3

◆シナリオの提示→質問項目への回答

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 各対象への信頼（誠実さ、能力、価値共有） | 導入容易性認知（例：使い方で頭を悩ますことはなさそうだ） |
| プライバシーリスク（例：情報が悪用される） | サービスへ受容的態度（例：この取り組みは良い考えだと思う） |
| 個人情報提供意図（例：自分に関する情報を提供しても良いと感じる） | 有用性認知（例：人々の生活の水準が向上する） |
| サービスの導入意図（取り組みに協力・参加する可能性） | |

◆分析：信頼の規定構造確認と、個人情報利用に関する受容的態度のモデル構築

- ◆今回は他母集団パス解析の結果を紹介（すべてのシナリオに同じ構造を仮定）

都市情報銀行（データ連携基盤研究WG）

情報銀行シナリオ：携帯からの位置情報やインターネット利用履歴、SNS発信内容を記録、利用希望企業に提供、個人はポイント・商品・サービスを得る

メーカー：データを管理する情報銀行
 データ二次利用者：情報銀行から提供を受けたデータを二次利用する企業
 自治体：取り組みを積極的に推進している地域の自治体

新EMS（都市マネジメント研究WG）

スマートオフィスシナリオ：オフィス内勤務者の位置・身体情報を記録、空調コントロールや職場環境改善に利用

メーカー：スマートオフィスを管理するビル管理会社
 データ二次利用者：収集するデータを二次利用するテナント企業（職場）
 自治体：取り組みを積極的に推進している地域の自治体

見守り：居住環境（元気高齢社会研究WG）

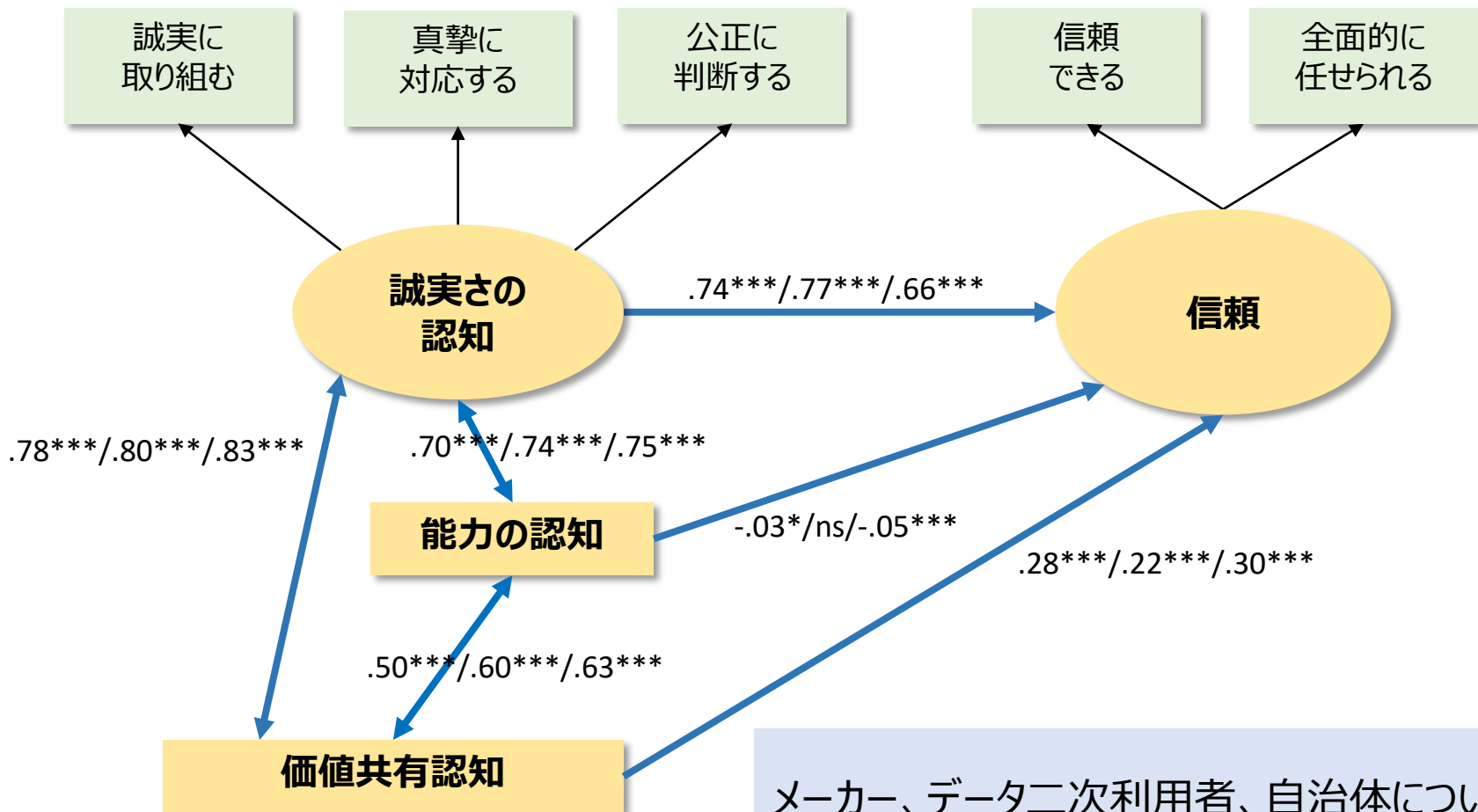
健康モニタリングシナリオ：自宅設置の健康モニタリングシステムにて、個人の様子を主に言語データで記録、健康管理や緊急時対応に利用

メーカー：見守りシステムを開発しデータ管理を行うメーカー
 データ二次利用者：提供された情報を利用する医師や保健師
 自治体：取り組みを積極的に推進している地域の自治体

データ駆動型都市プランニング（地域創生研究WG）

都市計画シナリオ：市街の人流、商店の購買、個人の位置情報、交通利用、消費データを記録、商店街設計、交通機関設置、市民サービス・経営戦略立案に利用

メーカー：システム開発・運用の委託先企業/データ収集・管理するNPO
 データ二次利用者：データを経営や販売戦略のために二次利用する事業者
 自治体：取り組みを積極的に推進している地域の自治体



$\chi^2(64) = 518.96 / 483.44 / 550.13, ps < .001$
 AGFI = $.92 / .92 / .90$
 RMSEA = $.049 / .048 / .055$
 係数は非標準化係数

メーカー、データ二次利用者、自治体について
態度の基本構造を確認

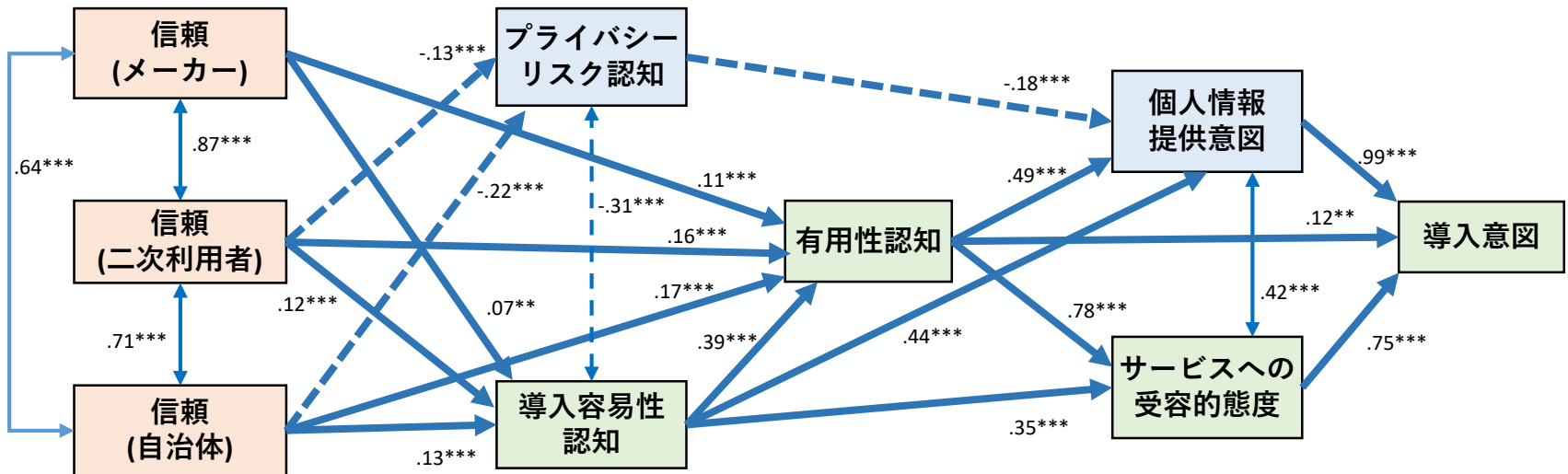
誠実さ + (能力) + 価値共有 → 信頼



◆ 技術に対する評価だけではなく信頼も重要

◆ 各対象に関する信頼があることで…

個人情報に行く末に対する安心感を得る
個人や社会にとってよいサービスであると評価する
自分にも使えるサービスであると感じる



$\chi^2(64) = 669.26, p < .001, AGFI = .93, RMSEA = .041, AIC = 791.26$

係数は非標準化係数

実線は正の効果 / 点線は負の効果



取り組み内容により信頼や受容度は異なる

前提 全体の構造構造において「信頼」の重要性は変わらない
シナリオ内容に依存→一般化については注意が必要

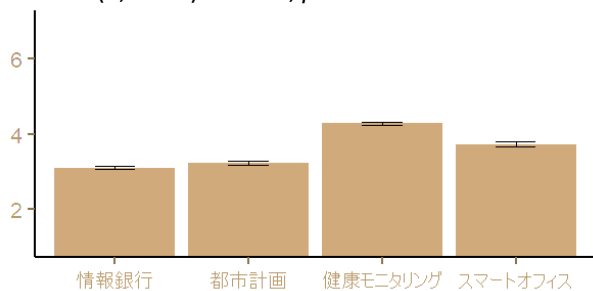
◆ 健康モニタリング（+スマートオフィス）に対しては相対的にポジティブ

- ◆ プライバシーリスク認知：情報銀行・都市計画 > スマートオフィス・健康モニタリング（全体に高いが…）
- ◆ 有用性：健康 > スマートオフィス > 都市計画 > 情報銀行
- ◆ 個人情報提供意図：健康 > スマートオフィス > 都市計画・情報銀行

◆ サービス内容の必要度・緊急度、情報の「私（わたくし）性」（プライバシー度）なども複雑に交絡している可能性がある

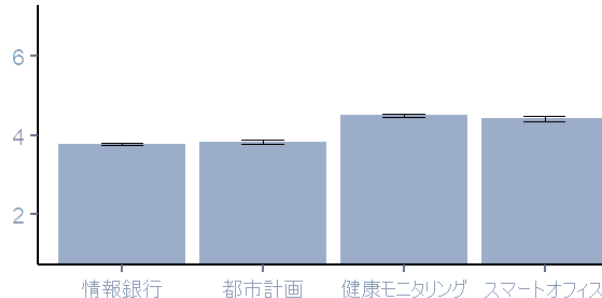
取り組みへの受容的態度

$F(3, 2788) = 138.0, p < .001$



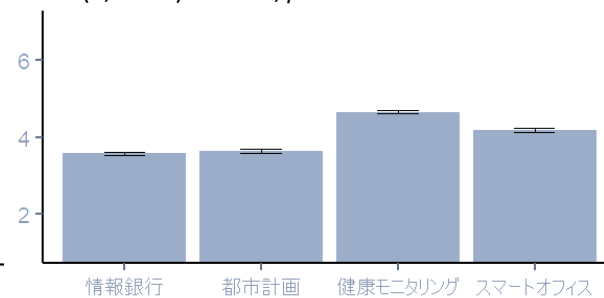
信頼（メーカー）

$F(3, 2788) = 73.0, p < .001$



信頼（二次利用者）

$F(3, 2788) = 156.0, p < .001$



日立東大ラボ 産学協創フォーラム

第2回Society 5.0の実現に向けた
ハビタット・イノベーションシンポジウム
課題解決から価値創造の次世代スマートシティへ



H-UTokyo Lab.